

# 第 172 号

平成 23 年 3 月 18 日発行

発 行

岩 手 県 腎 臓 病 の 会 事 務 局

盛岡市三本柳 8-1-3 ふれあいランド岩手内

〒020-0831 電話 (019) 639-1330 FAX637-7626

# 岩腎会だより

**大災害に負けず  
頑張れ!!**

岩手県腎臓病の会

会長 津嶋 豊明

**会員ご家族の皆さんへ**

三月十一日午後二時四十六分に発生した東北地方太平洋沖地震は、国内観測史上最大の巨大地震で十メートルにも達する大津波により被災されました会員・ご家族の皆様には心よりお悔やみ申し上げますとともに哀悼の意を表します。特に沿岸地域にお住まいの皆様には大津波の被害が大きく、行方不明の会員・ご家族の方があるのでないかと大変心配しております。私たちは今までの経験より、大きな地震が来ることは覚悟しておりましたが、これほどの巨大地震・津波とは思いが至りませんでした。

避難所生活を強いられ、いられている会員の皆様、体調の維持には充分気をつけていると思いますが、保健担当の方に自分自身は透析患者であるということをしつかり伝えておくことが大事かと思えます。

## 毎日を大切に生きて

大変な日々の生活ですが、何としても生き延びてください。この先きつと良いことが待っていると信じてください。県内の会員それぞれがサバイバル生活を今後も当分続くと思っ毎日を大事に生活して参りましょう。

稼働している透析施設もダイアライザーの在庫や調達が充分でなく、週の透析時間が通常の二十五%減となっております。私も週二回四時間透析に協力することにしました。食事や水分管理に充分心を配らなければなりません。お互い毎日を大事に生きていきましよう。

## 切実な声を聞いて

尚、岩腎会として県知事及び県保健福祉部長、県会議員に次の三点を要望いたしました。

一、透析稼働施設名をメディアを通じて繰り返し放送していただきたい。

二、通院のためのガソリンを透析患者にも確保してほしい。

三、沿岸地域を優先にダイアライザーの確保に努めてほしい。

会員各位の頑張りに期待します。

平成二十三年三月十六日

# 連絡事項

## 未曾有の大災害により

### 事業も相次いで中止になりました

★以下の事業が中止(延期)になりました。

#### 1. 全腎協関係

① 全腎協総会

② 国会請願

#### 2. 東北ブロック関係

① 東北ブロック交流会

#### 3. 岩腎会

① 第2回幹事会

### ★沿岸部の安否情報 (3月17日現在)

- ・大船渡市の菅野正明会長は、TVIのインタビューに生出演で無事が確認されました。
- ・宮古市の島崎至青年部長は、伝言板により無事が確認されました。
- ・山田町の山崎辰夫さんは直接メールで連絡が取れました。
- ・久慈九戸腎友会会長の新山重光会長(野田村)は、無事で直接電話がつながりました。

・久慈九戸腎友会事務局の工藤幸子さん(田野畑村)は、直接電話がつながりました。現在、避難所で生活しているとのこと。

〔会員の安否情報を知っている方は事務局までご連絡ください〕

### ★透析施設情報

各施設で沿岸地域からの患者受け入れ準備等のため短時間透析や週2回透析などが行われています。

現在、各会に問い合わせ中です。

### ★その他

- ① 岩腎会事務局のある「ふれあいランド岩手」は、避難所になっており、4月末ごろまで全館使用禁止となります。但し、事務局のある団体交流室1.だけは使用できます。
- ② 宮城県腎協事務局は多賀城にあるため、事務局に行けないと。
- ③ 福島県腎協事務局のある二本松市は電話が通じないとのこと。

### 《通院乗り合いを進めましょう》

ガソリン不足に対し、私たち患者自身も立ち上がりましょう。この目的のため、通院の乗

り合いに協力いただけないでしょうか。

例えば

① 自宅から透析施設までの経路に会員宅がある場合、同じ透析時間帯の会員を途中で拾っていく

② 同じ透析時間帯で近くの会員同士が変わり番こに送迎する とか。

しかし、同じ透析患者と云っても意外と知らない場合が多いです。そこで、ぜひ情報交換に協力いただけないでしょうか？

**できることから始めましょう!!**

### 編集後記

想像を超える巨大災害に何をしたらいいのか思い浮かびません。とりあえず地震当日、沿岸の思い当たるところにメールを打ちました。停電による暗闇の中、寒さと余震に耐えながら待ち続けても誰からも返信がなく。

いったい私たちは会員のために何ができるのか……!

〔良・憲〕